

# 七友会 だより



人文社会科学部1号館

## INDEX

遠藤会長ご挨拶	2
新学部長ご挨拶・ご退任の先生ご挨拶	3
コロナ禍の岩大生	4
七友会設立40周年記念同窓会準備状況・実行委員	5
2019年度評議員会での事業報告	6
2019年度会計決算報告および会計監査報告	7
2020年度事業計画・2020年度会計予算及び 予算の一部修正について	8
2020年度岩手大学人文社会科学部同窓会修正 予算・会則の改定について	9
役員改選・お知らせ	10

### これからの予定

- 2021年7月3日(土) 午後1時 2021年度評議員会  
アイーナ(いわて県民情報交流センター)  
8階 会議室 806
- 2022年7月2日(土) 七友会設立40周年記念同窓会(予定)

### 岩手大学人文社会科学部同窓会 <七友会>

(連絡先) 020-8550 盛岡市上田3-18-34  
岩手大学 人文社会科学部内「七友会」宛  
電話:019-621-6701 FAX:019-621-6715  
Eメール: shichiyu@iwate-u.ac.jp

ホームページをリニューアルしました!  
<https://jinsha.iwate-u.ac.jp/shichiyu/>

岩大 七友会

検索



## ご挨拶

七友会会長 遠藤 隆

長らくお待たせしていましたが、七友会のホームページがやっとリニューアルされ、3月1日から公開しています。岩手大学全学のHPから入って、人文社会科学部のHPに行くと「七友会」のリンクにたどり着きます。

最新情報や、皆様からのご意見、消息などもこれまでよりいち早くお届けすることができます。ドンドンアクセスしていただき、新たな交流の場としていきましょう。

さて七友会よりも発刊を重ねて今回で50号の節目となりました。これまで発刊にご尽力いただいた、先輩役員の皆様にご感謝申し上げますとともに、引き続き会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。昨今の頃は、コロナ禍などという言葉も知らず、「今年はオリンピックの年だ」と浮かれていました。ところがダイヤモンドプリンセス号から次々に感染者が見つかり、パンデミックとか、クラスターなどという聞き慣れない言葉が飛び交うようになって社会の雰囲気は一変してしまいました。私たちが生まれてからこの方、世界中のほとんどの地域で同じ悩みを共有する。こんなことは経験したことがないのではないのでしょうか。夜の街は静まり返り、事業者は家賃の支払いに苦悩する。旅行業者は自粛に苦しみ、GO TO TRAVELに期待し、また休止に苦しむ。医療関係者は必死にウイルスと戦っているのに、心無い人たちの中傷に悩む。この他にも私たちが知らないところでどんなことが起こり、どんなに多くの人が苦しんでいるか計り知れません。このことを前提にしてですが…

私たち岩大の、工学部ですが、先輩でNTTドコモの社長をしておられた吉澤和弘氏と小川

智学長の対談を企画しました。企画し放送した時点では吉澤さんは現役の社長で、小川学長もこの企画を大変喜んでくれました。内容はWithコロナの時代を5G技術で乗り切ろうというもので、コロナで密を避けなければならない時代。リモートワークが当たり前の時代になると、東京からは人が去って、むしろ岩手のような田舎にビジネスチャンスが生まれるのではないかと。巨大会社の社長、吉澤さんがこんな企画に乗ってくれるか不安は大きかったのですが、吉澤社長は趣旨に賛同してくださって、わざわざ岩手大学まで出向いて収録に臨んでくださいました。

5Gの技術を使うと、これまでの4Gによるリモートワークの肌触りのなさがなくなり、臨場感が出てくる。熱を帯びた議論や場合によっては化学の実験も可能になる。お二人は予定していた台本にないことまで踏み込んで、岩手の可能性を熱く語ってくださいました。実際、三陸漁業は地球温暖化の影響もあって不振にあえいでいますが、岩手大学の釜石キャンパスには5Gの回線が敷かれ新たな技術開発に取り組んでいます。

苦しみの中で新たな可能性を見出す。それはとても難しいことだし、飲食店の経営者の方たちはそれどころではないかも知れません。しかし、前向きなことにも目を向けて。夢を持つことも大事なのではないのでしょうか。

今年で65になるじじいの私がまだ夢を見ているのだから、若い皆さんはもっともっと大きな可能性を見出してください。期待していません。

## 新学部長ご挨拶

# 人文社会科学部の教育理念＝「専門深化と総合化」の先進性とその今日的意義



人文社会科学部  
学部長 横山 英信  
(2021年4月1日就任)

まずもって、七友会の皆様に日頃より本学部の教育・研究に対して物心両面で御支援を頂いていますことにこの場をお借りして改めて感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

私は以前2015年4月から2019年3月までの4年間学部長を務めさせて頂きましたが、このたび山本昭彦先生の後任として再び同職に就くことになりました。以前と同様、皆様からの御協力を頂きながら職務にあたる所存です。

わが人文社会科学部は1977年の創立時から一貫して「専門深化と総合化」を学部の教育理念としてきています。学部創立44周年を迎えた現在、その教育理念は古くなるどころかますますその輝きを増している、と私は考えています。

専門を深めようとするほど広い視野・総合的な視点を身につけることが求められる(＝「高い山ほど裾野は広い」)ことは言わずもがなですが、近年、社会が急速に高度化・複雑化する中で、これに的確に対応するためには物事を多面的・総合的に分析・把握することがますます重要になってきています。

つまり、「専門深化と総合化」は激動する現代社会において大学教育の根底に位置づけるべきものになったと言えるの

ですが、本学部は今から40年以上も前にそれを早々に学部の教育理念として打ち出していたのです。

最近10年ほどで静岡大学・弘前大学・高知大学・山形大学・茨城大学の「人文学部」が次々に「人文社会科学部」に改組されましたが(これによって全国唯一の「人文社会科学部」であった本学部の「名称独占」は崩れてしまいました)、そこではいずれも改組の軸として「総合的視点」の獲得が強調されています。これは、まさに本学部の教育理念の先進性を証明してくれたものと言えるでしょう。本学部設立当時の先生方の御慧眼と先見の明に改めて敬意を表する次第です。

そして、何よりも本学部の卒業生の皆さんが各界の第一線で活躍されていること自体が、本学部の教育理念が大学教育において確かな意義を有してきたことを雄弁に物語っているのではないのでしょうか。

「中央と地方との格差」が問題となる中で、これに対処すべく地方国立大学には地域社会の再生・活性化のための新たな役割が求められており、本学部もそれに対応した取り組みを行っていくこととなります。そこにおいても、「自分の頭で考え、的確に判断し、的確に行動する」人間を育てることこそが最大の地域貢献であるとの認識の下、「専門深化と総合化」という理念に沿った大学教育をいっそう充実させていきたいと考えています。

これからも七友会の皆様の変わらぬ暖かい御支援をよろしくお願いいたします。

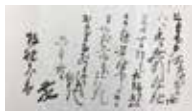
## ご退任の先生ご挨拶



定年退職を迎えて  
人間文化課程  
教授 玉澤 友基

私と岩手大学との関わりも長くなりました。本学の教育学部小学校教員養成課程に入学して4年間、書道にのめり込んで高等学校書道教員の方向に進みました。同時に教育学部の非常勤講師として14年、平成4年常勤講師として採用され、24年間。そして平成28年から学内配置換えになり、人文社会科学部で5年間、計47年が過ぎようとしています。顧みてすいぶん長くお世話になったと思います。七友会の皆さんには馴染みが薄いかと思いますので、この場をお借りして私のやって来たことの一部ですが、ご紹介をしてこの稿を埋めたいと思います。

私の専門は漢字行草体書道です。作品は下図をご覧ください。本学の書道分野は東北地方の国公立大学で唯一、複数の教員を擁し、学生募集も行って来ました。書道文化に情熱を燃やす高校生を受け皿にもなり、高校の書道教員もそれなりに送り出し、地域の文化活動にも寄与し、精一杯やって来たつもりではあります・・・。



私の作品以外の研究の柱の一つは、盛岡の生んだ第19代内閣総理大臣原敬の書の研究です。原の書は大学に務めるようになり、初めて知りました。歴代総理大臣の中でも筆頭に挙げてもいい書を残したと思うのですが、その評価は進んでいません。

その書簡の書は、奔放自在です。行を左傾させながら入れ組ませ、密度ある空間を作ります。文字の大小・墨の潤濁・線の細太・筆圧の強弱などの変化を極めます。そして、最後は「匆匆頓首」などを右傾させて締めくくります。署名は殆

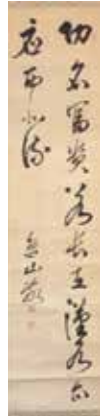
ど「敬」一文字です。文字の一画目の入筆を見ると悉く異なります。行末の一文字取り出して見ても、実に変化に富んでいます。このような多彩な線の表現はそう出来るものではありません。そして何よりも良いと思うのはこの書簡を見ていて爽快な気分になることです。原の真筆全てに言うことで



作品としての書は、一転して一作一面貌です。「汲古」は墨をたっぷりつけて、字の中に点画の間に僅かに白を残して、この言葉に対する想いも表現した奥深い作品と言えるでしょう。このような墨の使い方はも中々出来るものではありません。周りの広々とした空間、落款の入れ方や印の位置も隙がありません。条幅の七言二句は、栄華は長くは続かないものと言う李白の詩の二句を取り出しています。入筆の仕方といい、点の打ち方といい、同じパターンは無く自然で変化に富んでいます。技術的にも高く、表現力の豊かなものを持っていたことが分かります。

もう一つの研究は、太田孝太郎(夢庵1881~1967)研究です。太田夢庵と言ってもピンと来ない方も多いと思いますが、新聞「岩手日報」の題字の筆者と言えばお分かりでしょうか。30歳頃から資料収集をして来て、一昨年、岩手県立博物館において「風雅好古一太田夢庵の金石收藏・研究と文人の世界」展・シンポジウムを監修しました。また、昨秋に出版出来た『日本岩手県立博物館蔵太田夢庵旧蔵古璽印』(上海書画出版社刊)は、太田コレクション全てを収録して、データや釈読を掲載し、「中国2020年第4四半期影響力図書」に選ばれました。(いずれも劉海宇平泉文化研究センター教授と共同研究です。)太田の業績は幅広く、ここでは紹介しきれませんが、県立博物館蔵の中国古印コレクションや金石学者としての業績は日中兩國を跨ぐハイレベルな功績として特筆すべきでしょう。

原敬の書簡は改野耕三宛、原敬記念館蔵、「汲古」は、鈴木利貞「原敬全傳」日本評論社、1922年からの引用です。



## コロナ禍の岩大生

新型コロナウイルスの蔓延によって、全国的に大学生はアルバイトを解雇されたり、就労日を減らされるなどして収入が減って苦勞を強いられています。岩大生も例外ではありません。

岩手大学では困窮学生に対する支援として、イーハトーヴ基金から1人5万円を支給しました。受給を希望する学生に大学が実情を記載してもらったところ、

- ・ 3月下旬からバイト先（飲食店）が休業し、収入が無くなった。
- ・ 販売のアルバイトを行っていたが、6月に解雇となった。
- ・ アルバイト先の時短営業、休業により学生バイトはシフトに入れない。
- ・ アルバイト収入を見込んでいたが、まったくアルバイトが出来ない。

といった記述があったそうです。希望した学生は全学で646名。募集要項では5万円を200名に給付としていましたが、実情に応じて203名に5万円。半額の2万5000円を443名に給付しました。大学は影響の大きさを鑑みて希望者全員に給付を実施しました。原資となったイーハトーヴ基金に対しては、同窓会連合会から100万円の寄付。また人社の学生のうち、半額給付となった73人に対しては、七友会から独自に一人1万円の上積み給付をしました。これに対して山本昭彦学部長からは「岩手の学生だからか、あまり困窮を口にしません。困っていることは確か。おおいに助かります。」とのメールをいただきました。

全国の学生に対する支援は日本学生支援機構からも行われました。岩手大学には120万円の助成金が寄せられましたが、岩手大学では大学の補助も加え、通常400円の定食を1日限定300食で100円とする朝食を企画しました。11月4日から11月いっ

## 七友会会長 遠藤 隆

ぱい実施され、学生たちに好評でした。

一方、前期授業は一部の実習を除いてほとんどが遠隔授業となって、特に新生はキャンパスで大学生になった実感を味わえませんでした。人文社会科学部が昨年6月から7月にかけて実施したアンケート調査では、「資料配布型の授業は学修していても手ごたえがない」と回答した学生が全学年平均で38%でしたが、特に1年生は48%と高い割合を示しました。自由回答の中で「大学の授業を受けている実感があまりない。授業と言っていいものなのか疑問に感じる授業が多い。」と不満を示している1年生がいる一方、「オンデマンド型の授業では、自分のタイミングで動画を視聴できかつ、繰り返し視聴できるのはとても良い点だと思いました。」と積極的に受け止めている1年生もいました。岩手大学では後期授業を対面としましたが、小川智学長は将来的に、対面と遠隔を組み合わせたハイブリッド型の授業を検討すべきだと話してしています。

後藤尚人教授のオンライン授業



# 七友会設立40周年記念同窓会準備状況

## 七友会設立40周年記念同窓会を延期します

七友会は、1981年3月の設立以来、2021年に設立40周年を迎え、教育界、経済界はじめ各界をリードし活躍する人材を配しています。そこで、40周年の節目に当たり、一堂に会し、旧交を温める記念の同窓会を開催しようと実行委員会を立ち上げ、2021年7月3日の開催を目指して、準備を進めてきました。

実行委員会は、遠藤隆会長を中心に地元盛岡周辺在住のメンバー14人で構成され、2020年8月から4回の会議で話し合いを重ねました。8月の時点では、新型コロナウイルス感染拡大の状況もまだ不透明であり、情勢を踏まえつつ、開催方法についてもオンラインを使うなど様々なアイデアが出て会場との調整を行ってきました。

しかしながら、案内を出す2021年3月になっても新型コロナウイルスの終息がまだまだ見通せず、当初予定の7月3日では安全に開催することが困難となりました。

また、会員同士の交流という所期の目的を達成するためには、オンライン開催よりも新しい生活様式を取り入れながら1か所に集まって、顔と顔を合わせた交流が最も望ましく、Facebook等で寄せられた会員の意見も延期が多いという状況がありました。

そのため、第4回目となる3月12日の実行委員会において、開催時期と開催方法について、これま

で出たすべての案のメリットと課題を整理し、開催の可否を検討しました。

その結果、Facebook等で寄せられた会員の意見を尊重し、1年延期して2022年7月2日(土)に開催することに決定しました。

実行委員会では、1年後の開催を目指して更に充実した内容となるように準備を進めていきますので、どうぞお楽しみにお待ちください。



### 七友会設立40周年記念同窓会(予定)

日時/2022年7月2日(土) 14時~17時

会場/ホテルメトロポリタン盛岡本館

盛岡市盛岡駅前通1番44号

参加者/七友会会員及び教職員

準備の状況は随時 [HP https://jinsha.iwate-u.ac.jp/shichiyu/](https://jinsha.iwate-u.ac.jp/shichiyu/) でお伝えします。

## 七友会設立40周年記念同窓会実行委員

実行委員会会長は遠藤七友会会長が務め、委員は会長の指名で決定しました。実行委員は、次のとおりです。

役職	氏名(入学期)	役職	氏名(入学期)
会長	遠藤 隆 (1)	委員	落安 昭三 (1)
委員	吉田 真二 (7)	同	塩田 勝美 (1)
同	稲垣 秀悦 (1)	同	中野 玲子 (1)
同	晴山 農 (1)	同	大志田 研 (6)
同	藤村 紀行 (1)	同	長澤 秀則 (3)
同	高橋 享孝 (6)	同	相澤 文恵 (1)
同	藤原 育子 (1)	同	山本 尚江 (7)

(敬称略・順不同)



# 2019年度会計決算報告および会計監査報告

今回の会計監査については、新型コロナウイルスの影響で県境をまたいだ移動に制限がありましたので、小檜山、工藤両監査員のご了解を頂戴したうえで、落安顧問に代行監査を実施していただいております。

## 2019年度 岩手大学人文社会科学部同窓会 会計決算報告

### 一般会計

<収入の部>

(単位 円)

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
会費	3,920,000	3,980,000	60,000	199名
前年度繰越金	847,555	847,555	-	
特別会計より繰入	-	-	-	
雑収入	25	12,027	12,002	12,000(大学70周年祝賀会補助返戻) 27(利息)
合計	4,767,580	4,839,582	72,002	

<支出の部>

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
1. 事業費	3,320,000	2,878,405	441,595	
1) 会報発行	1,600,000	1,730,084	-130,084	2020年2月第49号発行
ア. 印刷費	1,000,000	1,108,500	-108,500	
イ. 郵送費	600,000	621,584	-21,584	
2) 会員活動援助費	550,000	144,700	405,300	評議員会出席者宿泊費補助等
3) 卒業記念品贈呈費	100,000	100,000	-	40期分積立
4) 支部援助費	70,000	25,925	44,075	一期会通信費
5) 文化事業補助	150,000	3,160	146,840	進路選択セミナー交通費
6) 寄附金	500,000	500,000	-	学部への奨学寄付
7) 同窓会連合負担金	300,000	300,000	-	同窓会連合会費
8) 諸費	50,000	74,536	-24,536	退職教職員記念品代等
2. 会議費	500,000	382,532	117,468	
1) 評議員会会議費	400,000	382,532	17,468	出席者旅費等、評議員会会場費
2) 諸会議費	100,000	0	100,000	
3. 事務費	250,000	84,396	165,604	事務用品、データ管理・HP維持管理費等
4. 特別積立金	-	-	-	
5. 雑費	100,000	100,000	-	事務謝金
6. 学部設立50周年記念積立	-	-	-	
7. 同窓会設立40周年記念積立	-	-	-	
8. 予備費	597,580	0	597,580	
合計	4,767,580	3,445,333	1,322,247	

差引残高 1,394,249 円は、2020年度に繰越いたします。

### 特別会計

<収入の部>

(単位 円)

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
前年度繰越金	42,690,420	42,690,420	-	
新規積立金	100,000	100,000	-	卒業記念品贈呈費
利息	3,580	3,623	43	利息 (2,295+359+628+341)
合計	42,794,000	42,794,043	43	

<支出の部>

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
1. 一般会計へ繰出	-	-	-	
2. 積立金	42,794,000	42,794,043	43	年度末積立金額=翌年度繰越金額
1) 特別積立金	27,096,265	27,096,290	25	27,093,995(前年度決算)+2,295(利息)
2) 卒業記念積立	4,274,635	4,274,644	9	4,174,285+359(利息)+100,000(新規積立)
3) 学部設立50周年記念積立	7,401,697	7,401,705	8	7,401,077+628(利息)
4) 同窓会設立40周年記念積立	4,021,403	4,021,404	1	4,021,063+341(利息)
合計	42,794,000	42,794,043	43	

## 会計監査報告

2019年度の決算について監査を行い、正しく処理されていることを確認いたしました。

2020年6月2日

顧問 落安昭三 ㊞

## 2020年度事業計画

- 2020年度は、新型コロナウイルスの影響により、「進路選択セミナー」の開催を中止いたします。学部就職委員会担当教授とも協議の結果、中止とするものです。
- 会報「七友会だより」については、昨年度に引き続き、年1回の発行とし内容の充実を図ります。
- 会員名簿の充実と事務機能の強化を図る必要があることから、昨年度できなかった事務担当者の採用やアルバイトの採用等その方策を検討します。
- 七友会ホームページのリニューアルは喫緊の課題であることから、その改修に取り組みます。
- 引き続き年間予算の収入と支出の均衡を図りながら予算の執行を行います。
- 新型コロナウイルスの影響で生活に困窮している学生のため、イーハトーブ基金から困窮学生に支援金が贈られることになりました。これを受けて七友会役員間でイーハトーブ基金への寄付を検討しましたが、その後同窓会連合会から基金に100万円を寄付する案が各学部同窓会に対して示されたことから、七友会としてこれを了承することとします。
- 2021年7月3日（土）に予定されている七友会設立40周年記念同窓会（予定）の開催に向けて準備を進めます。（2022年7月2日（土）に延期）

## 2020年度会計予算及び予算の一部修正について

- 今年度は「3. 事務費」にホームページのリニューアル予算を90万円計上しています。予算計上に当たっては2社から見積を取って比較検討しています。
- 評議員会を书面決議とすることから、事務費に郵送費用を10万円見込んでいます。
- 2020年6月の評議員会书面決議後に、新型コロナウイルス感染拡大に伴って経済的に困窮する人文社会科学部学生への支援のため、下記のとおり予算の修正を行っております。詳細については、2020年度修正予算をご覧ください。

【目的】新型コロナウイルス感染拡大に伴い経済的に困窮する人文社会科学部学生への支援のため、七友会から岩手大学イーハトーブ基金 特定基金「修学支援事業基金」（以下、イーハトーブ基金）に対して73万円の寄附を行う。

### 【修正内容 2020年度予算の一部修正】

#### 一般会計（収入の部）

項目	修正前予算額	修正後予算額	摘要
特別会計より繰入	0	500,000…①	特別積立金より繰入
合計	5,454,270	5,954,270…②	繰入分50万円の増額

#### 一般会計（支出の部）

項目	修正前予算額	修正後予算額	摘要
1. 事業費 6) 寄附金	500,000	1,230,000…④	イーハトーブ基金に寄附73万円加算計上
8) 予備費	774,270	544,270…③	23万円を寄附金に計上のため減額
合計	5,454,270	5,954,270…②	繰入分50万円の増額

#### 特別会計（支出の部）

項目	修正前予算額	修正後予算額	摘要
1. 一般会計へ繰出	0	500,000…①	イーハトーブ基金に寄附のため繰出
2. 積立金 1) 特別積立金	27,098,580	26,598,580	同上理由により減額

### 【説明】

- 特別会計特別積立金から500,000円（…①）を一般会計収入の部に繰入れする。
- 一般会計収入の部合計と支出の部合計は5,954,270円（…②）とする。
- 特別積立金から繰入れした500,000円と予備費774,270円のうち230,000円を寄附金に充当（…③）し、結果として支出の部 1. 事業費 6) 寄附金に730,000円分をイーハトーブ基金に対する寄附金として加算する。
- 支出の部 **1. 事業費 6) 寄附金計上額は1,230,000円（…④）**とする。



## 2020年度 岩手大学人文社会科学部同窓会 修正予算

### 一般会計

<収入の部>

(単位 円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	摘 要
会 費	4,060,000	3,920,000	入学生203名
前 年 度 繰 越 金	1,394,249	847,555	
特 別 会 計 よ り 繰 入	500,000	-	特別積立金より繰入れ
雑 収 入	21	25	利息
合 計	5,954,270	4,767,580	

<支出の部>

項 目	予 算 額	前年度予算額	摘 要
1. 事 業 費	3,860,000	3,320,000	
1) 会 報 発 行	1,900,000	1,600,000	年1回発行予定
ア. 印 刷 費	1,200,000	1,000,000	
イ. 郵 送 費	700,000	600,000	
2) 会 員 活 動 援 助 費	150,000	550,000	親睦会、交流会等の補助
3) 卒 業 記 念 品 贈 呈 費	100,000	100,000	40期分積立
4) 支 部 援 助 費	50,000	70,000	支部大会援助等
5) 文 化 事 業 補 助	50,000	150,000	就職ガイダンス等の補助
6) 寄 附 金	1,230,000	500,000	人社学部へ奨学寄附50万円、イーハトーヴ基金へ寄附73万円
7) 同 窓 会 連 合 負 担 金	300,000	300,000	同窓会連合年会費
8) 諸 費	80,000	50,000	慶弔費、退職教職員記念品等
2. 会 議 費	300,000	500,000	
1) 評 議 員 会 会 議 費	200,000	400,000	評議員会諸経費等
2) 諸 会 議 費	100,000	100,000	七友会設立40周年事業関連会議費等
3. 事 務 費	1,150,000	250,000	事務用品、通信費、データ管理、HP改修維持費等
4. 特 別 積 立 金	-	-	
5. 雑 費	100,000	100,000	事務謝金
6. 学 部 設 立 50 周 年 記 念 積 立	-	-	
7. 同 窓 会 設 立 40 周 年 記 念 積 立	-	-	
8. 予 備 費	544,270	597,580	議決済予備費774,270円から23万円を寄附金へ
合 計	5,954,270	4,767,580	

### 特別会計

<収入の部>

(単位 円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	摘 要
前 年 度 繰 越 金	42,794,043	42,690,420	
新 規 積 立 金	100,000	100,000	卒業記念品贈呈費
利 息	3,607	3,580	
合 計	42,897,650	42,794,000	

<支出の部>

項 目	予 算 額	前年度予算額	摘 要
1. 一 般 会 計 へ 繰 出	500,000	-	イーハトーヴ基金へ寄附のため繰出
2. 積 立 金	42,397,650	42,794,000	
1) 特 別 積 立 金	26,598,580	27,096,265	27,096,290-500,000+2,290 (利息)
2) 卒 業 記 念 積 立	4,375,000	4,274,635	4,274,644+356 (利息) +100,000 (新規積立額)
3) 学 部 設 立 50 周 年 記 念 積 立	7,402,330	7,401,697	7,401,705+625 (利息)
4) 同 窓 会 設 立 40 周 年 記 念 積 立	4,021,740	4,021,403	4,021,404+336 (利息)
合 計	42,897,650	42,794,000	

## 会則の改定について

2019年度の評議員会において岩手大学人文社会科学部同窓会（七友会）会則 第3章 役員 第7条 第1号 第5項監査員の人員を下記の通り改定しました。改定理由は次の通りです。

今回のように、新型コロナウイルス感染拡大防止のため県境をまたいだ移動が制限された場合など、会計監査の実施に不都合が生じる可能性があることから、同窓会事務局周辺に居住している監査員を置く必要がある。

[改定内容]	改定前	改定後
	五 監査員 2名	五 監査員 3名

# 役員改選 (任期：2020年6月～2022年6月)

会長 遠藤 隆 (再)  
副会長 足立慎悟 (再) 吉田真二 (再) 内堀 哲 (再) 稲垣秀悦 (再)  
理事 大澤雅昭 (再) 晴山 農 (再) 藤村紀行 (再) 黒沢 成 (再) 高嶋才司 (再) 夏井正悟 (再) 大谷 敬 (再)  
松岡和生 (再) 佐藤伸樹 (再) 栗林健司 (再) 清野陽一 (再) 佐藤 泰 (再) 小野澤章子 (再) 新田浩喜 (再)  
高橋享孝 (再) 中野玲子 (再) 大志田研 (再) 門傳英慈 (再) 長澤秀則 (新)  
監査員 小檜山修 (再) 工藤康身 (再) 相澤文恵 (新)  
幹事 鈴木 護 (再)  
会計 稲垣秀悦 (兼任)(再) 中野玲子 (兼任)(再)  
顧問 落安昭三 (再) 塩田勝美 (再) 佐原和典 (再) 山本 昭彦 (学部長)(新)

## 会員の皆さん、連絡先をお知らせ下さい

同窓会では、毎年このような会報を発行しています。これらを皆さんに送るためには、連絡先の把握が重要になりますが、転居等で連絡先が不明になることが多く、現在、4割強の方が不明状態になっています。

連絡先は現住所でも実家等家族住所でも構いませんが、確実に連絡のつくところをお願いします。転居等の際には郵便局への届出と共に、事務局へもお知らせ下さい。

なお、寄せられた情報は同窓会活動のみに利用されるもので、事務局で一括管理されています。また、会費については、ほとんどの方が入学時に納められていますので、特に請求されることはありません。同窓会活動は、ほとんど会員のボランティアで運営されています。今後の学部の発展及び同窓生の親睦のための活動に、ぜひ御協力下さい。

※友人で会報の届いていない方は、連絡先不明になっている可能性があります。すぐに下記連絡先情報により七友会へお知らせ下さい。

### 連絡先情報

ふりがな 氏名 (男・女)	卒業 専攻	期 (S (コース) 年 月卒 等	封筒にある整理番号 No. _____
現住所 〒			
(自宅) TEL FAX	携帯	勤務先名等 (可能なかぎり)	
E-mail			
家族等連絡先 〒			

## 大学の動向

・今年の卒業式は中止となりました。大学では卒業式の式典規模を縮小して「国立大学法人岩手大学学位記授与式」が3月23日(火)に挙行されました。各学部から学位記受領総代と答辞総代のみを出席者として行われたとのことでした。

・入学式も中止となり、1年生の学部オリエンテーションが4月8日(木)に行われます。

・2014年6月に学部と共催して初めて開催した「進路選択セミナー」については、学部就職委員会から「学生の就活に対する意識構造の変化」と「学部主催の就職ガイダンスを実施している」との理由で、来年度以降はセミナーを行わない方向で一致しているとの連絡を受けております。学部側のご意向ですので、今年度以降の進路選択セミナーは開催しないこととしたいと思います。

## 訃報

**名誉教授 早坂 啓造氏 (享年89歳)** 令和2年10月14日 逝去  
【ご経歴】 昭和42年4月 岩手大学教養部講師、助教授および教授を歴任  
昭和52年5月 岩手大学人文社会科学部教授  
平成10年 岩手大学名誉教授  
専 門：経済理論・科学論・日本資本主義・民衆歴史

**名誉教授 成田 浩氏 (享年88歳)** 令和2年11月21日 逝去  
【ご経歴】 昭和44年4月 秋田大学教育学部講師・助教授  
昭和60年4月 岩手大学人文社会科学部教授  
平成11年 岩手大学名誉教授  
専 門：言語学、英語学等

**教授 福原 亨一氏 (享年89歳)** 令和2年6月 逝去  
【ご経歴】 平成5年4月1日から平成10年3月31日までご在籍  
平成5年4月 岩手大学人文社会科学部教授  
専 門：国際政治学

ご冥福をお祈りいたします

## 編集後記

今回の発行が記念すべき第50号となりました。第49号の発行から1年以上が経過しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大が続いています。宮城県や山形県は緊急事態宣言が継続されています。皆さん引き続きご注意ください。

今回の発行前にやっと七友会のホームページのリニューアルも完成しました。今後、お問い合わせのページを追加し、皆さんとの双方向通信ができるようにしますので、ご意見等をお寄せください。

7月3日(土)開催予定の2021年度評議員会は、オンライン参加が可能となるように準備を進めています。詳細は改めてホームページでお知らせします。布谷事務長、1年間大変お世話になりました。ありがとうございました。